

かわさきTMO通信

<かわさきTMOの最新情報はホームページで閲覧できます>

2019年1月号 No.73

- 第3回ワークショップのご報告
- 野毛商店街視察のご報告
- 事務局たより

発行元：かわさきTMO
 発行責任者：副会長 馬場 義弘
 編集責任者：サフトウンマネージャー 大木 淳
 発行日：2019年1月5日
 発行部数：1,000部
 ◆連絡先
 TEL：070-1458-5568
 Email：okuyama-tmo@outlook.jp
 かわさきTMO通信は「まちづくり情報交換誌」を目指しています。
 お気軽に情報をお寄せください。
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

●第二回「かわさき未来づくりワークショップ」のご報告

十二月十九日(水)、川崎区役所第一・第二会議室にて、「第二回かわさき未来づくりワークショップ」が開催されました。参加者は企画者、オブザーバーを含め五六名でした。今回は募集によって集まったアイデアのプレゼンテーションを実施しました。提案は六団体からで、企業、大学生、それに中学生等から出されたアイデアは多種のジャンルに渡り、すぐに実現できそうなものから、時間がかかるが実現してほしいと思えるものまで多彩なアイデアでした。

提案者と提案名をご紹介します。*は今後の方向性です。

【株式会社読売IS】

- ① デジタルサイネージ&コンテンツによるインバウンド対策
- ② 防災・発災時のデジタルアシスタントツールの提案
- ③ SNSの利用率が際立つ「台湾」の地域特性を生かした費用対効果の高い効率的なインバウンド企画

*この中の③を中心に実施を検討していきます。

【横浜大学 田尻ゼミ 川崎チーム】

・インスタ映えするコスプレスポット
 *既成のイベントの中で試験を実施する方向で検討します。

【川崎高校附属中学校第三学年】

・音楽のあふれるまち 川崎
 *すぐに実現可能なアイデアで、同校吹奏楽部の演奏を録音し、商店街に協力を呼びかけます。

【Basho tori(チーム)】

・Basho tori(場所取り)



*スマホから簡単にライブ等の場所取りができるというユニークな発想で、試験実施を検討しています。

【株式会社NENGO】

・かわさき街づくりファンダ実験
 *後日、詳しい内容をヒアリングする予定です。

【サニーワンステップ株式会社】

① 東海道川崎宿四〇〇プロジェクト
 ② 川崎ホスピタリティーズ
 *グラウンドデザインとして共有する方向です。後日、ヒアリング予定です。
 ・ ・ ・

提案者の方々、参加して下さった多くの皆様に心より感謝申し上げます。

今後かわさきTMOの具体的な活動と位置づけ、実践してまいります。



●「野毛商店街の視察」のご報告

一月二十五日(金)午後六時、他都市視察の一環として、横浜市中区(最寄り駅は桜木町)にある「野毛商店街」を視察しました。参加者はTMO役員、商店街若手有志他計十二名でした。まず、サブタウンマネージャー大木が野毛地区の成り立ちと現在の状況について説明しました。

野毛地区は横浜開港時に道に商店街が形成され、戦後復興時に闇市からの発展を遂げました。横浜駅、関内、伊勢崎町の復興による落ち込みを大道芸によるイメージ戦略で再生し、東横線桜木町駅廃止には野毛地下道、横浜にぎわい座による回遊の創出で再生。リーマンショック前後の落ち込みには安い家賃に惹かれた若者たちによる飲食街の再生によって危機を乗り越えたとのこと。現在は家賃が上がり気味で若者の撤退、チェーン店の増加が見られるとのことでした。

次にYMD S株式会社山岡社長から野毛手形の取り組みにつ

いて説明がありました。

野毛地区振興事業協同組合による事業で野毛飲食組合が協力しており、現在、参加店舗は飲食店四百五十店舗のうち、七十余店舗となっています。

YMD Sが販路転回を請負、ホテルを通じて企業研修や港みらいの企業への販路を開拓しています。外国人観光客、ラグビーWCに絡めた関係者の案内をした実績もあります。課題としては店舗によるサービスのバラツキがあるとのことでした。その後、野毛手形の体験としてある焼鳥店で飲食し、都橋商店街を見学後、解散しました。



第三回「かわさき未来づくり

ワークシヨップ」開催のご案内

第三回「かわさき未来づくりワークシヨップ」では第一回の意見交換、第二回の提案を踏まえて、「まちのグランドデザイン」をご提案させていただきます。意見交換等によって、かわさきTMOの今後の活動の方向性を皆様とともに考えてまいりたいと存じます。

ご参加をお待ちしております。

日時：三月十三日(水) 一四時半

会場：川崎市産業振興会館十二階

経済労働局会議室

《お申込・お問い合わせ》

かわさきTMO事務局(松村まで)

電話：044-233-8874

E-mail: kosyoren@ace.ocn.ne.jp

◆事務局たより◆

多様な知恵を集め、新たな視点を獲得するために、現役時代から様々なワークシヨップにかかわってきました。たとえば、【ガリバー地図】ではホールに川崎市の白地図を敷き詰め、ガリバーのように地図の上

を歩きながら、「ほら、工場がなくなり大きな商業施設が」等と様々な発見を白地図に書き込みました。

逆に、【地城の宝物発見】と称し、みんなで街を歩きながら、「あれ、ミヤコワスレの花が咲いてる」とか「商店街のベンチは気持ちいいね」等、普段気が付かない物を発見しました。前者は【鳥の目】であり、後者は【虫の目】です。

このたびのかわさき 未来づくりワークシヨップ」第一回では、全員で4つの課題ごと、テーブルを囲み、KJ法を駆使して意見交換を行いました。引き続き第二回では表頁にある六つの提案が示されました。

私たちはこうした取り組みを繰り返しながら、現在の閉塞状況を壊したい。TMOは川崎駅周辺だけの小さな集まりで物事を考えるくらいがあります。高輪ゲートウェイや渋谷ストリームなど、首都圏諸都市が大きく変容する中、閉じられた中でのコップの嵐では何の役にもたちません。ワークシヨップを通じた創造的破壊が求められます。

(リエゾンコーディネーター 伊藤和良)